

ニカラグア 小学校教諭 三輪真之

2007年9月、平成19年度2次隊12名とともに日本を出国をしました。個人的には小学校教諭として小学校で体育の授業の活性化に協力するため、ニカラグアで2年間活動することになりました。ニカラグアに来てから約10ヶ月がたったところで、簡単にニカラグアや配属先小学校、子どもたちの様子をお伝えしようと思います。



←東京ーヒューストン（アメリカ）、ヒューストンーマナグア（ニカラグア）と乗り継いでの長旅でした。約20時間？

まずはスペインゴ語学訓練を一ヶ月行いました。首都マナグアから約1時間半のサンマルコス市というところでホームステイをしながらの一ヶ月です。文法はもちろんですが、実際に学校や、市役所、警察を訪れて質問をするなど、より実践的な内容でした。



←教室です。隊員2名に対して先生1名でした。



←ホストファミリーの家族と。部屋は広く、シ

ャワー、トイレ付きでした。今までに何人もの隊員を受け入れてきており、とても温かく接してもらいました。



←サンマルコスの空

語学訓練中に市内の小学校で交流会があり、折り紙やラジオ体操を紹介しました。が、停電中だったため準備していたラジカセが使用できず、アカペラで歌いながらの体操でした。断水や停電はあたりまえの環境です。



↑急遽スピーカーを使っでのラジオ体操でした。恥ずかしかった・・・

というわけでニカラグアの生活にも少しずつ慣れてきたような気がした頃に無事
訓練終了というわけです。



←終了式の後でクラスの仲間、先生、両国の国旗
ともに。